



佳作（株式会社松山三越賞）

サーバルの庭

よしびね

紙 アクリル絵具

作品について

雑誌で見たネコ科の動物と外出中に目にとまった植物を合わせて描いてみました。どちらもみつけたときに気持ちが和むような感じがしたので…。

講評

タイトルの「サーバルの庭」のサーバルとは、ネコ科のサーバルキヤットのことだと思います。作者は雑誌で目にしたこの動物の愛らしく凛々しい姿と、外出中に目に留まった草花たち、2つの出会いに触発されて、これを1つの世界として、やさしい色彩で表現しています。特に前足に止まった蝶を不思議そうに眺めるサーバルの目が印象的で、独自の物語性を表出させています。また、隅々まで丁寧に描き込まれた画面からは、いきものたちへの憧憬と深い愛情が感じられ、その柔らかな色調とも相まって、見る度に新たな気付きと発見を与えてくれる作品です。（原田義明）